

# 解説

## ◇このワークシートのねらい

ミーアキャットとプレーリードッグは見た目や体の大きさが似ているためか、混同されることが多いようです。似ているように見える動物の似ているところと違うところを観察し、動物への理解を深めてもらいたいと思います。

## 1 ネズミやリスのなかまではないのはどれかな？

ニホンリス	げっ歯目リス科
モルモット	げっ歯目テンジクネズミ科
プレーリードッグ	げっ歯目リス科
アメリカビーバー	げっ歯目ビーバー科
ミーアキャット	食肉目マングース科



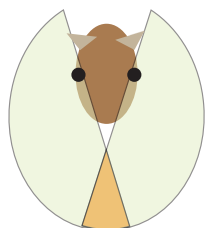
アメリカビーバーの歯

げっ歯目（ネズミ目）は現生哺乳類の中ではもっとも種類が多く約4割を占め、南極大陸とニュージーランド以外の世界中に分布しています。常に固い物（エサ）をかじっていますので、上下一対の門歯は絶えず伸び続けます。プレーリードッグは群れで生活し、イネ科の植物を好んで食べます。

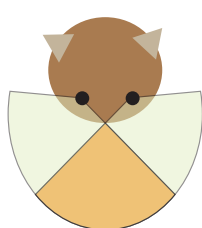
一方、食肉目は一部を除いて肉食の動物のグループです。その中でマングース科に属する動物は小型のものが多くいます。ミーアキャットはアフリカ南部に生息しています。完全な肉食ではなく果実なども食べる雑食の動物です。

## 2 ミーアキャットとプレーリードッグをよく見て目をかきこもう！

肉食動物は獲物を捕らえる、草食動物は天敵から逃げるために目の位置が異なります。草食動物全般にいえる特徴は目が顔の側方についていることです。これにより視野が広がります。一方、肉食動物の目は顔の前方についています。いわゆる両眼視により立体的に、また距離も正確に測ることができるようになっています。

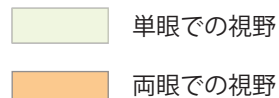


草食動物



肉食動物

草食動物と肉食動物の視野の違い



## 3 ミーアキャットとプレーリードッグは何をしているかな？

プレーリードッグとミーアキャットの行動を観察することで、似ているところと違うところを見つけてもらいたいと思います。

プレーリードッグは北アメリカの草原にすんでおり、地下に巣穴を掘ります。ミーアキャットも同じく地下に巣穴を掘ります。猛禽などの天敵から身を守るため見張りをしたり、日光浴をする習性も共通です。

野生では、どちらもエサを食べることに多くの時間をかけています。のいち動物公園では、頻繁に食べる必要があるプレーリードッグは展示場でもエサを与えていますが、ミーアキャットは朝夕の決まった時間に獣舎でエサを食べています。そのため、展示場でエサを食べている所はあまり見ることができないかもしれません。その他にもいろいろな行動が観察できると思いますので、観察の時間を多めにとってあげてください。

## 4 ミーアキャットとプレーリードッグの似ているところ、ちがうところをさがしてみよう！

このワークシートのまとめの項目です。プレーリードッグとミーアキャットの似ているところ、違うところを考えてみてください。なぜ似ているのか、なぜ違うのかを個人で考えたあとはグループでも話し合ってみてください。来園時に時間がない場合は学校に戻ってから、復習として活用していただいてもいいでしょう。

## ◇まとめ

プレーリードッグとミーアキャットに限らず、見た目が似ている、あるいは行動が似ているという理由で混同されている動物はほかにもいます。このワークシートがそういった動物たちの違いに気づき、動物を正しく理解する手助けになれば幸いです。

このワークシートについてのご意見、ご感想がありましたら遠慮なく動物公園までお知らせください。またアンケートにもご協力をお願いします。

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷738  
高知県立のいち動物公園 ワークシート係  
TEL 0887-56-3509 FAX0887-57-5251